

学会記事

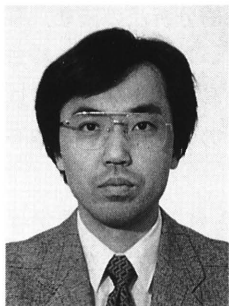
第2回徳島医学会賞受賞予定者紹介

徳島医学会賞は、医学研究の発展と奨励を目的として、第217回徳島医学会平成10年度夏期総会（平成10年8月31日、阿波観光ホテル）から設けられることとなりました。年2回（夏期及び冬期）の総会での応募演題の中から最も優れた研究に対して各期ごとに大学関係者から1名、医師会関係者から1名に贈られます。

第2回徳島医学会賞は次の2名の方々の受賞が決定いたしました。両名の方々には第219回徳島医学会夏期総会受賞式にて賞状並びに副賞（賞金10万円及び記念品）が授与されます。

尚、受賞論文は次号（6月25日発行予定）に掲載いたします。

（大学関係者）



受賞者氏名：赤池雅史
生年月日：昭和35年12月28日
出身大学：徳島大学
所属：徳島大学医学部第一内科

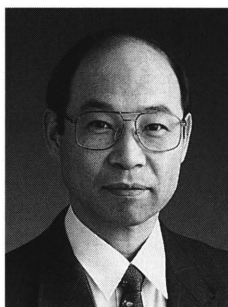
研究内容：1. 心血管病変の発症におけるミトコンドリアの意義に関する研究
2. 動脈硬化症の発症機序の解明と治療法に関する研究：特に脂質代謝ならびに凝固系との関連
3. ナトリウム利尿ペプチドによる心機能評価に関する研究

受賞にあたり：

この度は徳島医学会賞をいただくこととなり、関係各位に心より御礼を申し上げます。私は第一内科に入局以来、内科疾患、なかでも循環器疾患の診療にたずさわってきました。近年、循環器病学の分野では心血管生物学の進歩が著しく、『心臓は単なるポンプではなく、血管は単なる管ではない』との観点から、特に内分泌、脂質

代謝、凝固系などと心血管病との関連が注目されております。第一内科ではこれらの分野の研究が従来から盛んであり、この環境を生かしてこれからも微力ながら循環器疾患の診療と研究に努力していく所存です。最後になりましたが、共同研究者の諸先生方ならびに常に貴重な御助言と御指導をいただいております第一内科の松本俊夫教授、東博之講師にこの場をおかりして深謝致します。

（医師会関係者）



受賞者氏名：曽我哲朗
生年月日：昭和26年8月29日
出身大学：徳島大学
所属医師会：名西郡医師会
勤務先：有誠会 手束病院
診療科目：脳神経外科

研究内容：1. 救急医療における画像診断
2. 重症頭部外傷の診断と治療
3. てんかんの外科治療

受賞にあたり：

この度、第218回徳島医学会冬期総会におきまして、栄誉ある徳島医学会賞に選ばれました事に対しまして、徳島医学会関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

私は、平成8年11月まで徳島大学医学部脳神経外科教室にて診療と研究に励んでおりましたが、以後手束病院にて救急医療に専念しております。日頃から、脳血管障害患者の急性期診断の重要性を痛感しており、放射線技師と共に3D-CTAの有機的な活用を目指してまいりました。今回の受賞を新たな原動力として、救急および地域医療に貢献していきたいと考えております。